

ゆとりと思いやりの心で 夏の交通安全運動

7月13日(木)から22日(土)までの夏の交通安全運動期間に合わせて、21日(金)に大留交通安全協会が街頭啓発を行いました。

警察官や町交通安全指導員の誘導で車やバイクが路肩に停車し、同協会の会員や警察官、町職員がドライバーへ安全運転を呼びかけました。

上ノ国町は、7月21日時点で『交通死亡事故ゼロ5,374日』を達成しています。常に交通安全を意識し、思いやりとゆとりをもった運転をして事故のない町を継続していきましょう。



町長がバスガイド! 上ノ国町の魅力を発信

7月23日(日)、北海道中央バスのバスツアー「町長がバスガイド!」で木古内町・上ノ国町編へ。町長がバスガイドを務めました。車内では、ハンドマイクを手に取った町長が、軽快な口調で町の歴史や特徴、まちづくりの経験談などを話すと、ツアー客からは大きな拍手や笑い声が溢れました。町内観光でも、夷王山山頂からの景色を眺めた際には「日本じゃないみたい」「苦勞して登ってよかった」と喜びの声が聞かれ、上ノ国町の魅力に大満足な様子でした。



木工愛好会から保育所へ 安らぎ感じるプレゼント

7月27日(木)に上ノ国木工愛好会から上ノ国保育所へ木工品の寄贈がありました。

子どもたちは寄贈されたカミゴンや動物の木工品をとっても嬉しそうに部屋いっぱいにならべて遊び、部屋の中には木の香りが漂っていました。

夷王山キャンプ場近くにある工芸センターで、木工愛好会の会員の皆さんは色々な木工品を作って道の駅や産業まつりで出展していますが、子どもたちに木のぬくもりを感じてほしいということで寄贈されました。



初開催! 大賑わい! 学童保育所で夏祭り

7月28日(金)、放課後児童クラブ(学童保育所)で夏祭りが行われ、夏休み中の児童たちや招待された上ノ国保育所の年長さんたちが楽しく過ごしました。

今回が初開催となる学童夏祭りは、ヨーヨー釣りや割り箸射的、型抜きなどのアトラクションをはじめ、フランクフルトやフルーツポンチ、アイスバーなどの屋台が準備されたほか、午後からはビンゴ大会も行われました。

また各屋台では、紙で作ったコインを使って支払う仕組みとなっており、遊びの中に考える力を養うことを加えた、素敵な取り組みでした。

